

防災で未来をつくる

2022 年度 事業計画

【認定】特定非営利活動法人

SEEDS Asia

2022 年 5 月



団体概要

団体のビジョン

災害に負けない持続可能な社会

団体のミッション

最も脆弱な立場にある人々に、命、まち、暮らしを守るために適切な手段や技術、知識、スキル、そして他者とのつながりをもたらすこと

活動目的

アジアにおける環境問題や災害に負けない持続可能な人づくり・まちづくり

活動理念

▼SEEDS Asia が大切にしている 5 つのつながるアプローチ

- 政策と行動
- 科学と実践
- 神戸と東北、アジア世界
- 環境と暮らし
- 過去・現在・未来迅速な行動

行動規範

- 最も弱い立場にある人々へのリーチ
- 参加型意思決定
- 現地環境・文化への適応
- 非差別的アプローチ
- 個人への配慮
- 秀逸の追求



SEEDS Asia

キーワード

人間の安全保障、防災と開発、持続可能性、アジア太平洋地域、より良い復興、
包括的学校防災、まちづくり、防災の担い手づくり、理論と実践の相乗効果

事務局所在地・連絡先

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 1-7-7-307

Tel: 078-766-9412 Fax: 078-766-9413

団体設立

SEEDS Asia は 2006 年 9 月より特定非営利活動法人として活動しています。

なお、2020 年 2 月に神戸市より認定 NPO 法人格の交付を受けました。



2020年度事業計画

1. 基本方針：SEEDS Asia 2030プラン 5つの方針継続

SEEDS Asia10周年記念会議（2017年）を機に策定された「SEEDS Asia 2030年プラン」の基本方針に基づき、専門的で質の高い防災事業の持続的な運営を成し遂げ、仙台行動枠組・持続的な開発目標の達成に寄与します。

SEEDS Asia 2030：5つの基本方針

- 仙台防災枠組（SFDRR）と持続的な開発目標（SDGs）の達成に寄与し、専門性を活かした質の高い防災事業に取り組みます。
- 事業を通して、SEEDS Asia のブランドイメージを高めるとともに、事業パートナーを介して、そのブランドイメージのアウトリーチを推進します。
- 事業成果をもとに、収益性のある事業の創出を図り、事業収入の増加を図ります。
- 広報強化により、SEEDS Asia の認知度を高め、寄付金等の収入増を図ります。
- 多様化された財源を組織の基盤強化に充て、持続的な事業・広報の実施につなげます。



2. 重点活動：4つの優先行動に基づくSEEDS Asiaの8つの重点活動の推進

国内外で災害が甚大化・頻発化する中、防災はよりその重要性を増している。「SEEDS Asia 2030 年プラン」では、仙台防災枠組の4つの優先行動に基づき、SEEDS Asiaとして日本を含めたアジアにおける経験や知見を活かし発展させる8つの重点活動を推進し、以下のとおり年度目標の達成に取り組むこととする。

一方、SEEDS Asia 2030 年プランの策定から5年が経過した2020年度に、内部モニタリングを実施したことろ、成果を測る指標については不足点が見られた。そのため、各プロジェクトや重点活動の成果を測る共通の指標の開発を通じた団体基準の確立、良質で適正かつ効果的な活動推進に向けたテクニカルアドバイザーの起用を進める必要性が確認された。加えて2020年の新型コロナウイルスの影響により、従来の活動や手法を想定した数値目標の変更が今後生じる可能性が高く、新たなツールやメディアを活用した手法の開発による目標の達成が必要であることが認識された。

1) 仙台防災枠組 2015-2030 4つの優先行動と SEEDS Asia 8つの重点活動「2030 年プラン」

災害リスクの理解促進	レジリエンスを高める 防災への投資	災害リスクガバナンス 強化	備えの強化と「 BBB 」
災害リスクの高い地域を中心に、現地の状況やニーズに応じた防災知識や技術の普及・防災意識の啓発を実施します。	レジリエンスを高めるための研究者への支援や共同研究等の促進により、事業と研究のシナジー効果を生み出します。	対象地地域に於ける学校や地域住民による災害リスク管理の体制を強化・推進するため、指導員を育成すると共に、防災計画の推進に向けた体制と計画整備を支援します。	緊急支援に始まる復興プロセスの各段階に応じ、災害前よりもレジリエントな状態を目指した活動を展開します。また、緊急時にも社会的な脆弱層を視野に入れた人道支援の国際基準に基づく支援をおこないます。
防災/環境教育・啓発	防災研究・調査促進	防災指導員育成	緊急支援・避難者支援
ツールの開発	より安全な建設の推進	防災管理体制強化・促進	コミュニティ防災

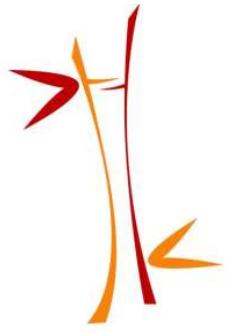


SEEDS Asia

2) 2022 年度の 8 つの重点活動実施と達成目標/活動内容の設定

重点活動 8 項目の 2030 年目標に向け、各活動の達成度を計る指標を下記のとおり定めた。また別途目標を達成するための戦術についても別途設定した。

4 つの 優先事項	8 つの重点活動	2022 年度の達成目標と活動内容
災害リスクの 理解促進	①防災/環境教育・啓発	目標：2,000 人への防災教育や啓発の機会を提供する (日本 1,000 人、フィリピン 1,000 人)
	②ツールの開発	目標：ウェブサイトにおいて持続的に活用・改善できるツールを公表する <ul style="list-style-type: none">全事業地：HP 上で Smart Knowledge Resource Centre (SKRC) として啓発ツールをオンライン化（登録・誓約、有償のものについては支払へのプロセスを含む）
レジリエンスを 高める防災へ の投資	③防災研究・調査促進	目標：事業の効果や教訓、アジアの共通課題について研究論文・出版物を発表する/論文・出版物の執筆に協力する <ul style="list-style-type: none">各事業の効果的な実施に関わる研究・学術界及び科学研究機関との連携を進める
	④より安全な建設の推進	目標：安全な建設に向けた政策的提言を発表する <ul style="list-style-type: none">フィリピン：安全な学校建物建設への提言
災害リスクガバ ナンス強化	⑤防災指導員育成	目標：学校・地域・行政の防災計画担い手 20 名を達成 <ul style="list-style-type: none">学校/地域 防災指導員の育成 (日本 12 人、フィリピン 8 人)
	⑥防災管理体制強化促進	目標：学校防災計画・地区防災計画の事例を 2 つ作成する <ul style="list-style-type: none">学校防災計画作成（日本、フィリピン）
備えの強化と 「 BBB : より 良い復興」	⑦緊急支援・避難者支援	目標：災害発生時の緊急支援に向けて寄付金のフルと災害前協定の締結を推進する <ul style="list-style-type: none">緊急支援発動基準に基づき、事業開始を判断緊急支援用資金源の確保（寄付金の積極的募



SEEDS Asia

		集)
⑧コミュニティ防災促進	目標：災害による被害が予測されている未災地での活動を展開する ● 日本・鳥羽：鳥羽小学校等と地域の連携強化	



3. 特定非営利活動にかかる事業（国・プロジェクト別）

3-1：人材育成事業・その他事業に付随する活動

(1) ミャンマー

1) 複合的危機下にある児童生徒・学生の教育継続支援

活動地域	ミャンマー国内
期間	2022年4月～2023年3月
従事者	2名（現地職員含む）
受益対象者	児童生徒・学生(100名)
資金支援	個人・法人寄付等
SEEDS Asia 2030	緊急支援・避難者支援
SDGsとの関連性	

事業内容：

コロナ禍とクーデターによる影響で、約2年に亘って学校閉鎖が続いていたミャンマーにおいて、教育継続に向けた機会・物資を提供する。日本国内並びにミャンマー研究者からの協力を得て、防災人材育成のためのオンライン講座の実施を検討する。

(2) フィリピン

1) フィリピン 中部ビサヤ地方セブ州における教育継続支援事業

実施地域	セブ州
期間	2022年2月～2022年8月
従事者	5名
受益対象者	フィリピン国教育省第7地方事務所下の地区事務所職員（10）、セブ州内の学校教員（50）、児童生徒（50）計1,060人
資金支援	個人寄付、ジャパン・プラットフォーム（JPF）支援による統合案件
SEEDS Asia 2030	緊急支援・被災者支援



SEEDS Asia

SDGsとの関連性	
-----------	--

事業内容：

2013年11月に発生した台風ハイエン（ヨランダ）並びに2021年12月の台風オデットの被災地であるセブ州において、被災した学校が授業再開の目途を立てられるよう、引き続き電力が回復していない地域の学校に発電機、そして校庭に木やがれきが散在している学校に清掃キットを貸与し、学校建物の被害調査を進める。

2) フィリピンの被災地における災害遺構整備と気候変動へ対応した防災教育による学校防災強化事業

実施地域	セブ州
期間	2022年8月～2025年7月
従事者	8名
受益対象者	学校の教職員及び児童、行政機関、対象地域住民、地域団体など
資金支援	JICA 草の根（地域活性化特別枠）
SEEDS Asia 2030	防災/環境教育・啓発、防災指導員育成、防災管理体制強化・促進、コミュニティ防災の推進
SDGsとの関連性	

事業内容：

2013年11月に発生した台風ハイエン（ヨランダ）の被災地であるセブ州において、過去の災害の教訓と地域ごとの気象情報の理解促進を通じた「命を守るために判断基準」の確立を目指す。先行する2つの事業に引き続き、フィリピン国教育省第7地方事務所及び兵庫県教育委員会と協働で実施する。フィリピンでは過去の悲しい出来事について話すことを避ける傾向にあるが、台風ヨランダを契機に、教訓を未来に伝える重要性が認識され始めている。兵庫県は阪神・淡路大震災からの教訓を伝える災害遺構を各地に有し、これらを踏まえた学校教育が展開されていることから、その知見を現地に共有し災害遺構の整備に取り組む。また、フィリピンでは気象情報のメッシュが大きく、正しい気象理解が普及していないことから、SEEDS Asia や専門家により、ローカル化された気象情報と災害対応プロトコルの発動基準に関するトレーニングを実施する。



SEEDS Asia

(3) 国内



1) With コロナ時代の復興まちづくり協力/支援事業

実施地域	長野県長野市				
期間	2022年4月～2022年3月				
従事者	3名				
受益対象者	地域住民				
資金支援	長野市、ジャパン・プラットフォーム（JPF）支援による統合案件				
SEEDS Asia 2030	ツールの開発、防災指導員育成、緊急支援・避難者支援、コミュニティ防災の推進				
SDGsとの関連性					

事業内容：

台風 19 号による千曲川の氾濫で大きな被害を受けた長野県長野市長沼地区は、今後も起り得る災害の脅威にさらされていることに加え、今回の災害からの復興期・復興後のまちの在り方を問われている。そこで、本事業では長沼地区住民自治協議会まちづくり委員会と長野市と連携し、長沼地区の復興まちづくり計画となる「ホームタウンながぬま」の改訂支援をおこなう。

2022年度スケジュール（各事業スケジュール）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	メイン	アシスト
ミャンマー：緊急支援	寄付募集 継続												大津山	中川
フィリピン：JPF													有馬	大津山 中川
フィリピン：JICA													有馬	大津山 中川
日本：JPF・長野市													大津山	有馬 中川



SEEDS Asia

その他 (過去事業地 でのフォロー、研 究関連)	フォローアッ プ活動													大津山	有馬
コンサル業務														随時対応	

3-2: その他事業に付随する事業

(1) 広報

実施地域	特定非営利活動法人 SEEDS Asia 本部（神戸）
期間	2022年4月～2023年3月
従事者	広報タスクフォース（理事・アドバイザー有志）、事務局
受益対象者	N/A

昨年度計画で未実施となったホームページの改訂（日・英）をおこなう。また、ニュースレター発行の継続と改善を継続し（英版継続休止）、開封率の向上（2021年度 22.07%→2022年度 31.95%）やその後の寄付や賛助会員の増加に努める。また、facebook や twitter への情報掲載の仕方について再検討しファンを増やす（facebook 団体への「いいね」の数 2021年度末 1,802→目標 1,850、Twitter フォロワー 2021年度末 63→目標 100）。また、国内外における各防災に関するイベントや講演に参加するなど広報活動を継続する。

2022年度スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	メイン アシス ト	
広報タスクフォース			活動 計画			レビュー							広報 TF	
Web づくり	構成の 提案	理事 会承認	コンテ ンツ作 成	業 者依 頼		開始							大津 山& 有馬	委託
成果物の共有													有馬	



SEEDS Asia

(2)講演、研修

実施地域	日本の各地
期間	2022年4月～2023年3月
従事者	5名（理事・アドバイザーを含む）
受益対象者	一般、大学・高校の学生、教員、援助関係者など

未災地支援として、三重県鳥羽市への講師派遣、シンポジウムや学校の授業などを通してアジアや日本の災害と現状、防災教育、コミュニティ防災等についての講演や研修を依頼に基づき実施する。

(3)組織強化

認定NPO継続に向けて賛助会員15名、団体賛助会員一団体（企業）を2022年度の目標とする（現在賛助会員12名）。また、内部共有システムの改善、各スタッフの研修や講演への参加を促進する他、事務所が属する地域コミュニティとの連携・活動を通じてスタッフの能力強化を継続的におこなう。今年度の人員増加はフィリピン事業を除き事業追加がない限り、原則として無しとする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理事会・総会			総会			16周年記念						
資格への投資・セミナー参加等	継続											
内部共有システム (クラウド)	Dropbox 継続活用											



SEEDS Asia

SEEDS Asia 事務局

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 1-7-7-307

Tel: 078-766-9412

Fax: 078-766-9413

Email: rep@seedsasia.org

Website: <http://www.seedsasia.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/SEEDSASIA/>

Twitter: <https://twitter.com/seedsasia?lang=ja>